



INFORMATION-TECHNOLOGY PROMOTION AGENCY, JAPAN

参考資料 1

スキル標準のグローバル状況

2008年10月24日

独立行政法人 情報処理推進機構
IT人材育成本部 ITスキル標準センター

1. ITスキル標準の国際化

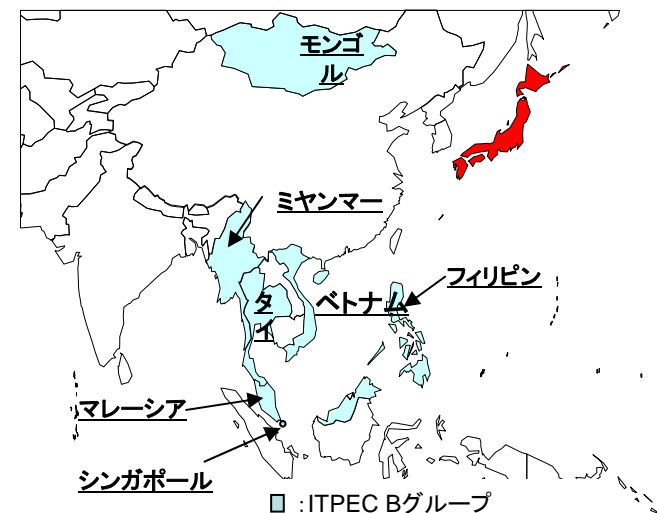
◆アジアでの展開:

目的: ITスキル標準をアジア各国に展開して、下記項目の推進を図る

- ・日系企業のアジア各国展開における、「IT人材育成投資」の効率化
- ・経済成長戦略大綱(*1)でアジア標準としての「スキル基準」の普及促進
- ・「情報処理技術者試験」と協調してITスキル標準のアジア展開を図る

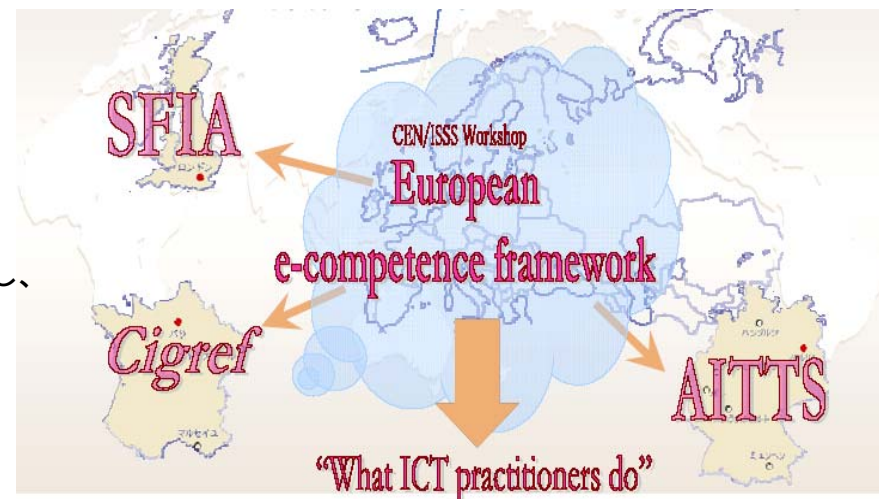
活動:

- ・2008年1月ベトナムソフトウェア協会の資格システムにITスキル標準採用
- ・2008年8月からベトナムでのITスキル標準展開支援開始
- ・2008年5月ITPEC (*2)で、ITスキル標準の概要を説明



◆ヨーロッパでの情報発信:

- ・2008年9月CENのe-CompetenceでITスキル標準の講演
- ・2008年9月欧州委員会と英国、仏国、独国との情報交換
- ・2008年10月e-SkillsでITスキル標準の講演



(*1) : 2006年7月に経済産業省が公表。日本が「アジアの発展に貢献し、アジアとともに成長する」事等が挙げられている。

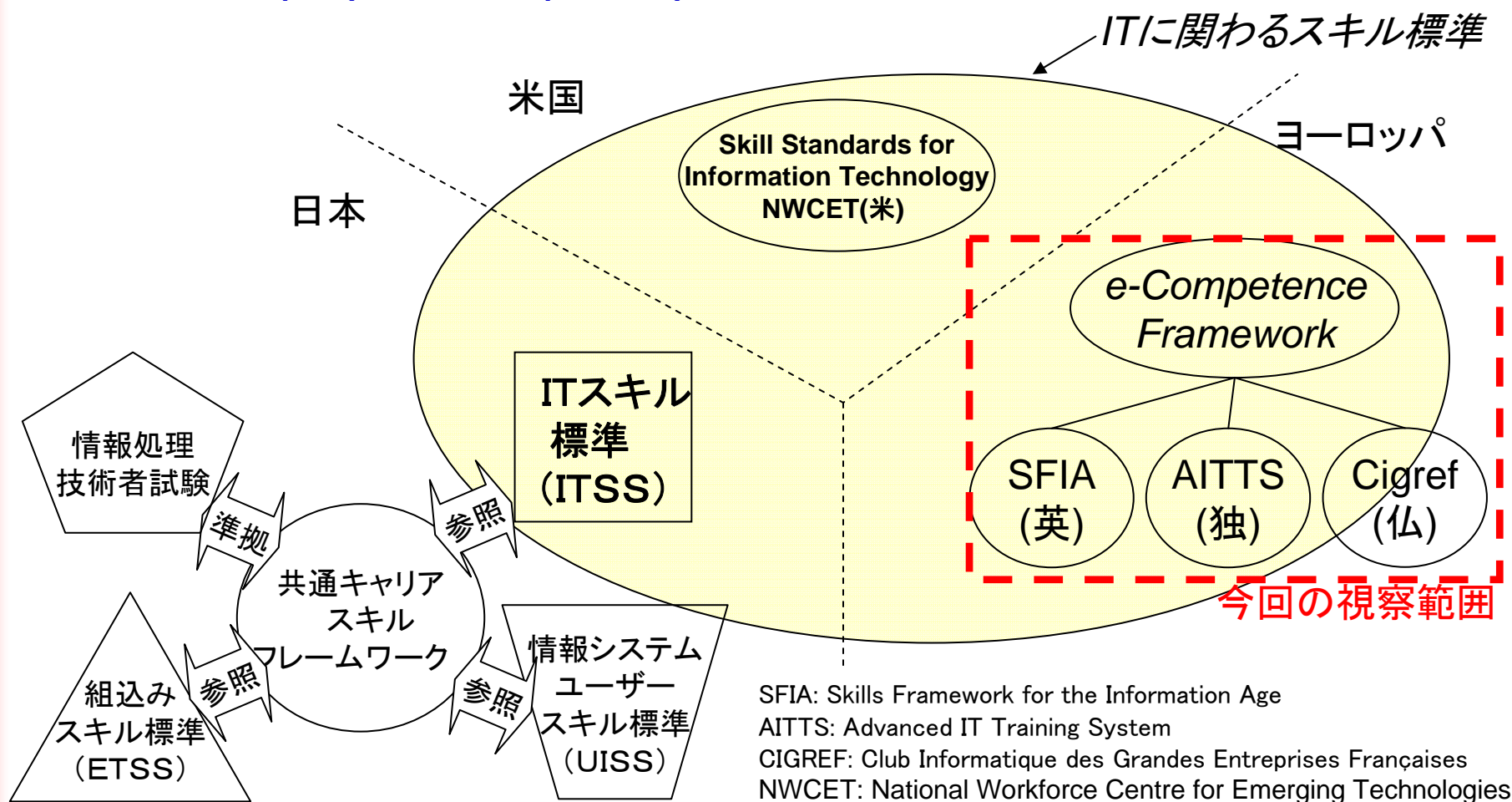
(*2) : IT Professionals Examination Council (アジア共通統一試験)

(*3) : European Committee for Standardization

(*4) : National Workforce Center for Emerging Technologies

2. スキル標準の世界動向

「スキル標準」について、現状、世界統一規格は存在しない。
一部の職種(PM)は、ISO化(PC236)の動きあり。



3. 欧州視察日程(2008年9月22日～26日)

赤字:スキル標準、緑字:企業

No	月日	日時	訪問国	訪問先	目的	備考
1	9/22(月)	10:00-10:20	ベルギー	欧州連合日本代表部	情報交換とITSSへの意見聴衆	元METI情報振課 小川書記官
2		10:30-12:00	ベルギー	欧州委員会企業総局	情報交換と欧州委員会の政策について	Costas Andropoulos 他1名
3		14:00-15:00	ベルギー	CompTIA	情報交換と認定の仕組みについて	Hugo Lueders 他 1名
4	9/23(火)	9:30-15:40	フランス	CEN/ISSS Workshop Plenary Meeting	日本のIT産業状況とITSSの紹介、e-Competence Frameworkの情報収集	議長Geogff McMullen 他約30名
5		16:00-17:00	フランス	Cigref導入団体	Pasc@line(NGO団体)のCigref活用状況について聴取	Jean-Louis Bernaudin
6	9/25(木)	9:30-12:50	ドイツ	BITKOM	AITTSの活用状況と認定の仕組みについて聴取	Cisco社、SAP社、Cert-IT社参加。計5名参加
7		13:00-14:00	ドイツ	教育研究省	生涯教育状況と意見交換	Stefan Luther
8		16:00-18:00	ドイツ	連邦議会	連邦議会の見学と意見交換	Melanie Kanzler
9	9/26(金)	14:00-15:00	イギリス	SFIA	SFIAの活用状況聴衆、ITSSの説明、と意見交換	Ron MacLarren
10		15:40-17:00	イギリス	BCS	情報交換とBCSの政策、戦略について	Michiel Van Der Voort

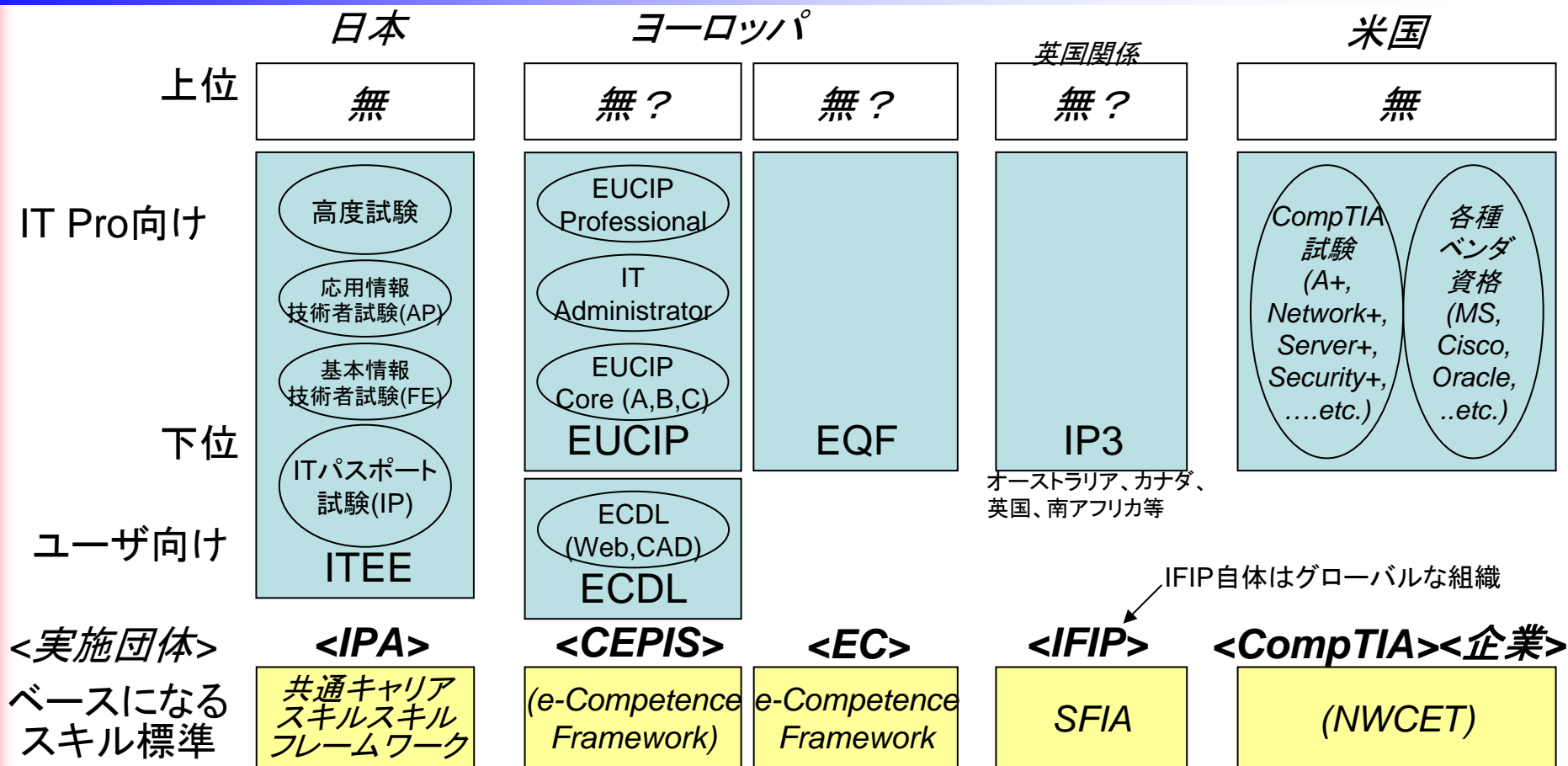
目的: 1)国際会議「CEN/ISSS Workshop on ICT-Skills Plenary Meeting」で、ITスキル標準の紹介を行う。
2)ITスキル標準に関わる関係機関を訪問し、現状把握、主要機関・人物との関係づくりを行う。

出席者:情報処理推進機構からITスキル標準センターの丹羽、村山、渡辺(NTTデータからの随行員)が全工程参加。4

4. 欧州視察報告サマリー

1. **欧州委員会**は欧州で政策立案等の中心的な役割を果たす機関であることが確認できた。しかしながら、IT業界において(少なくともスキル標準において)は、SFIA,AITTS,Cigrefの先進各国が進んでいるため、**必ずしも強いリーダーシップを発揮できていない**ようである。
2. **e-Competence Framework**は上記状況なので、**内容が大枠**であり、詳細定義をされていない。そのため、**実際に導入になると、SFIA,AITTS等を参照する必要性が出てくる**と予想される。
3. 前項の結果、**英、独の各国**では、e-Competence Frameworkの活用はなく、**直接、SFIA,AITTSの活用が多くなる**と思われる。
4. **Cigrefがユーザースキル標準(日本でのUISS)**に近いことがわかった。従って、**仏国**では、**ユーザー企業がCigrefを、IT企業がe-Competence Frameworkを活用**すると思われる。
5. **各スキル標準は、認定及び認証の仕組みのベース**として存在する。その関係は次頁を参照されたい。(IP3については、今回訪問しなかったので詳細不明。今後の課題である)。
6. 認定及び認証については、**ハイレベルでの質問しても、ITスキル標準でいうレベル4くらいまでの回答**しかなかった。**ITスキル標準でいうレベル5以上の認定及び認証方法については不明な部分が多かった**。今後の課題と考える。

5. IT技術者認定/認証の世界動向



ITEE : Information Technology Engineers Examination
 IPA : Information technology Promotion Agency
 EUCIP: European Certification for Informatics Professionals
 ECDL : European Computer Driving Licence
 CEPIS : The Council of European Professional Informatics Societies
 EQF : European Qualification Framework

EC : European Committee
 IP3 : International Professional Practice Partnership
 IFIP : International Federation for Information Processing
 SFIA: Skills Framework for the Information Age
 CompTIA : Computing Technology Industry Association
 NWCET : National Workforce Centre for Emerging Technologies